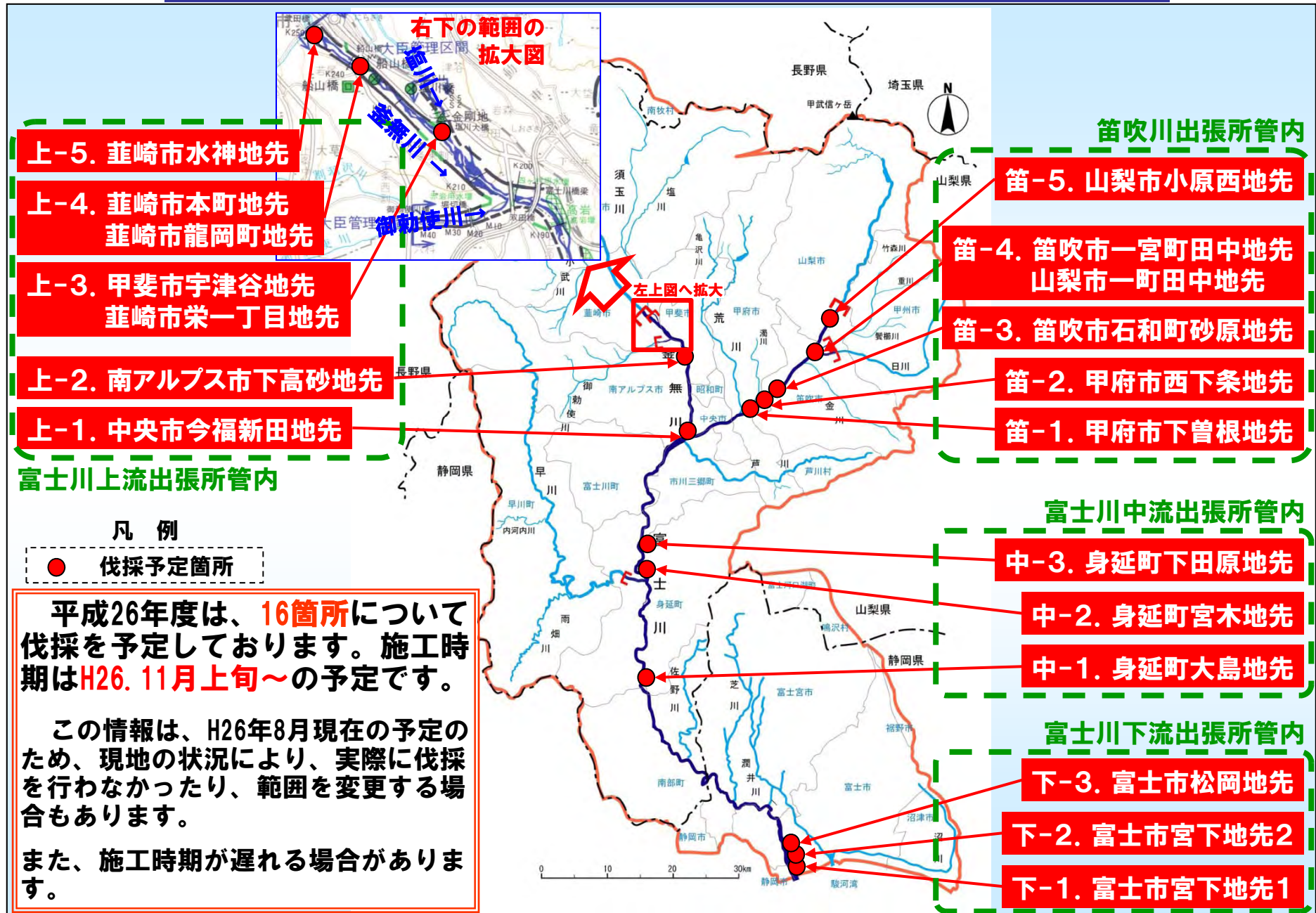


平成26年度 樹木伐採箇所 位置図



平成26年度 河川内の樹木伐採等について

富士川を適切に管理することを目的に、河川内に繁茂しております樹木の伐採を行います。



河川内に繁茂する樹木

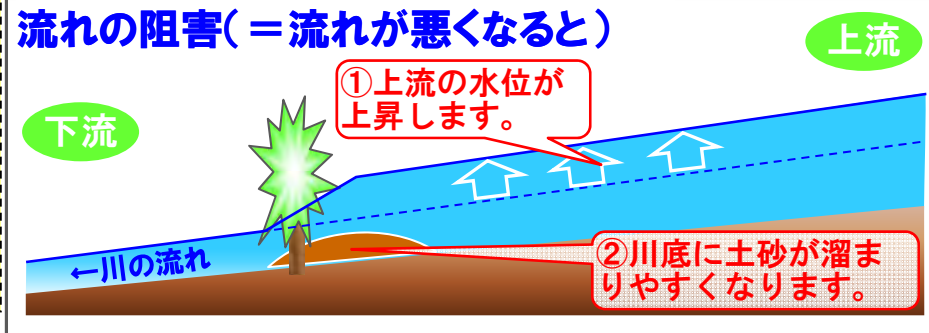
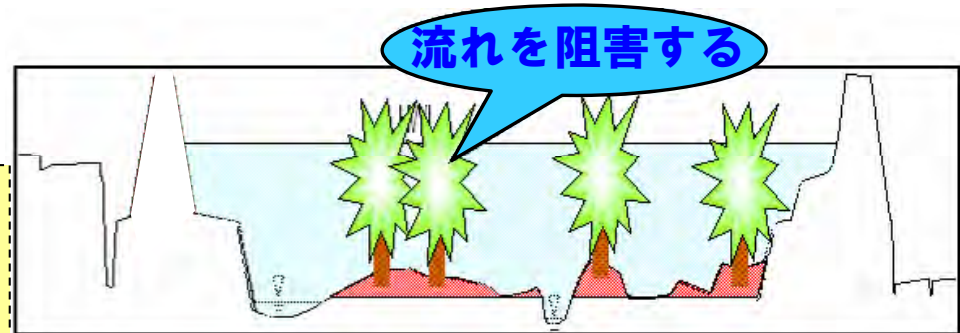
どうして、樹木の伐採は必要なのか？

理由その1

- ・ 樹木が洪水時の流れを阻害します。
(流れを悪くします。)

流れが悪くなると、

- ①上流側で、水位が上昇します。
- ②川底に土砂が溜まりやすくなり、
更なる流れの阻害を誘発します。



その結果・・・ 河原が固定化します。

中小規模の洪水でも堤防や河岸を急激に削られる流れが生じる恐れがあります。

堤防が決壊して住宅地に洪水が溢れ出し、
浸水被害が発生する恐れがあります。



平成15年の洪水で堤防が削られる
(釜無川・南アルプス市浅原)

理由その2

河川の状況を把握する巡視、河川監視カメラでの監視の支障や流量観測の障害となります

① 河川の管理は、**河川巡視、河川監視カメラ等**により行います。



河川巡視の状況



河川監視カメラ

② **樹木が繁茂すると、河川の様子が見えにくくなります。**



河川監視カメラの映像



河川監視カメラの映像

③ **河川の様子が見えにくくなると、**

1) **台風による出水等の緊急時**

水位の上昇などの河川の様子が確認できず、堤防が削られている状況等の、危険な状況の発見が遅れます。

2) **日常管理**

ゴミの投棄などの不法行為がされやすくなる。



投棄されたゴミ

④ **樹木を伐採することにより、**



河川監視カメラの映像



河川監視カメラの映像

河川の様子の把握が容易となり、

1) **台風による出水等の緊急時に、堤防が削られている等の危険な状況の発見を早めます。**

2) **ゴミの投棄などの不法行為を予防します。**

理由その3

倒れた木が流木となった場合、
下流の堤防・橋梁等の施設に悪
影響を及ぼします



倒木により
堤防へ影響



倒木が流木となり
下流の施設へ影響

理由その4

自治体などからの要望がある。

- ・ 地元の方々の洪水時の不安を解消するため
- ・ 防犯上の危険を解消するため 等々

以上の理由から樹木の伐採が必要です。

樹木の伐採にあたっては、その方法を工夫して実施します。

詳しい説明は・・・

- 樹木伐採等の手順について（箇所選定から施工まで）・・・6
- 頂いた意見を反映して実施した樹木伐採の事例・・・・・・・・7
- 参考：伐採樹木の代表：ハリエンジュとは？・・・・・・・・8
- 参考：ハリエンジュの繁茂状況について・・・・・・・・9
- 伐採方法・伐採した樹木の有効利用について・・・・・・・・10



樹木の伐採に関する問い合わせ先

甲府河川国道事務所 河川管理課 河川維持係

■住 所：山梨県甲府市緑が丘1-10-1

■電 話：055-252-8888（FAX 055-252-8891）

■メール：koufu@ktr.mlit.go.jp



樹木伐採等の手順について（箇所選定から施工まで）

手順① 管内の河道内において伐採等を行う必要がある箇所を抽出し、各箇所の概ねの面積、樹木種類・本数等を調べる。

手順② 抽出箇所より特に必要性・緊急性の高い箇所を選定する。

手順③ 過去に実施した河川水辺の国勢調査結果を参考に、選定した箇所における生物情報を把握し、伐採範囲（案）を決定する。

手順④ 選定した箇所（伐採予定箇所）を約2ヶ月間公表（ホームページ、現地看板）して、選定した箇所（伐採予定箇所）についてご意見を伺う。

手順⑤ 頂いたご意見の内容を検討した上で各伐採予定箇所において施工方法等を工夫します。

手順③だけでは、調査頻度等の問題から、どうしてもすべての生物情報の把握は不十分！
ぜひ、ご意見等をお聞かせください！

樹木伐採等の作業開始



頂いた意見を反映して実施した樹木伐採の事例

▶ 専門家よりいただいたご意見

- ◆ 縦断方向に細く切って、縦断方向に残す
- ◆ 樹木の密度が多すぎるので、河川利用者への配慮からも本数調整してもよい

+

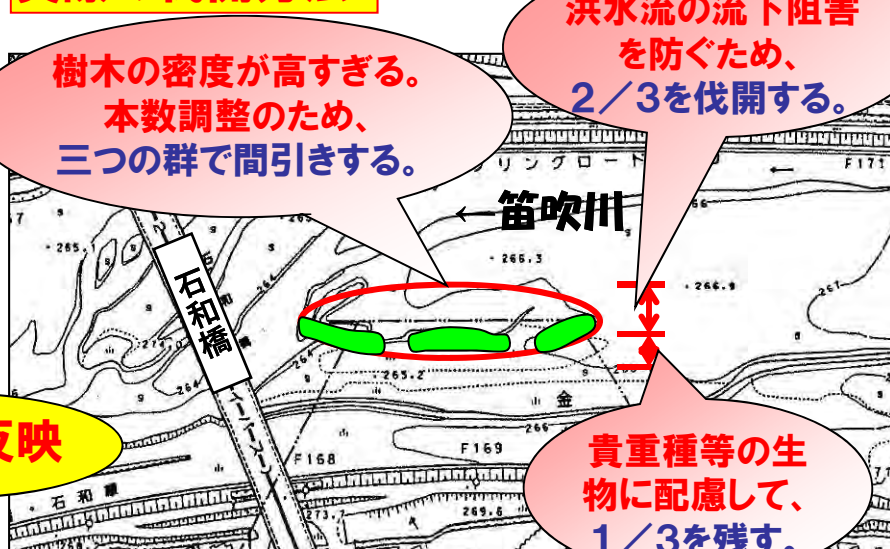
▶ 一般住民の方のご意見

- ◆ 笛吹川に生息する貴重種に対して、伐採により分断されないよう配慮してほしい
- ◆ すべての樹木を切ることによって、小鳥の逃げ場がなくなる

当初伐開範囲の設定



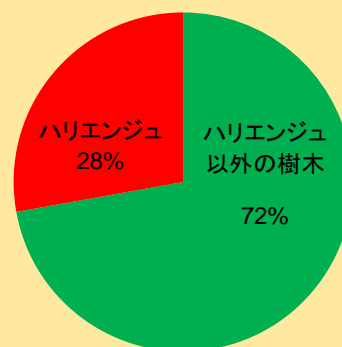
実際の伐開方法



参考：伐採対象樹木の代表・ハリエンジュとは…？

- 別名：**ニセアカシア**
- 明治6年に公園緑化樹として輸入された北アメリカ東部原産の樹木
- **栄養のないところ（貧栄養）**でも良好に生育できます。
…→ 治山・砂防の緑化樹として多用されてきました。
- 根は**広く浅く**成長し、根が少しでも残っていれば、わずか**1～2年**で再生し、**30年程度**で腐朽し脆くなります。

富士川の河川内樹木は、約630haありますが、そのうちハリエンジュの占める割合は28%となっています。



※河川水辺の国勢調査結果（H23）より



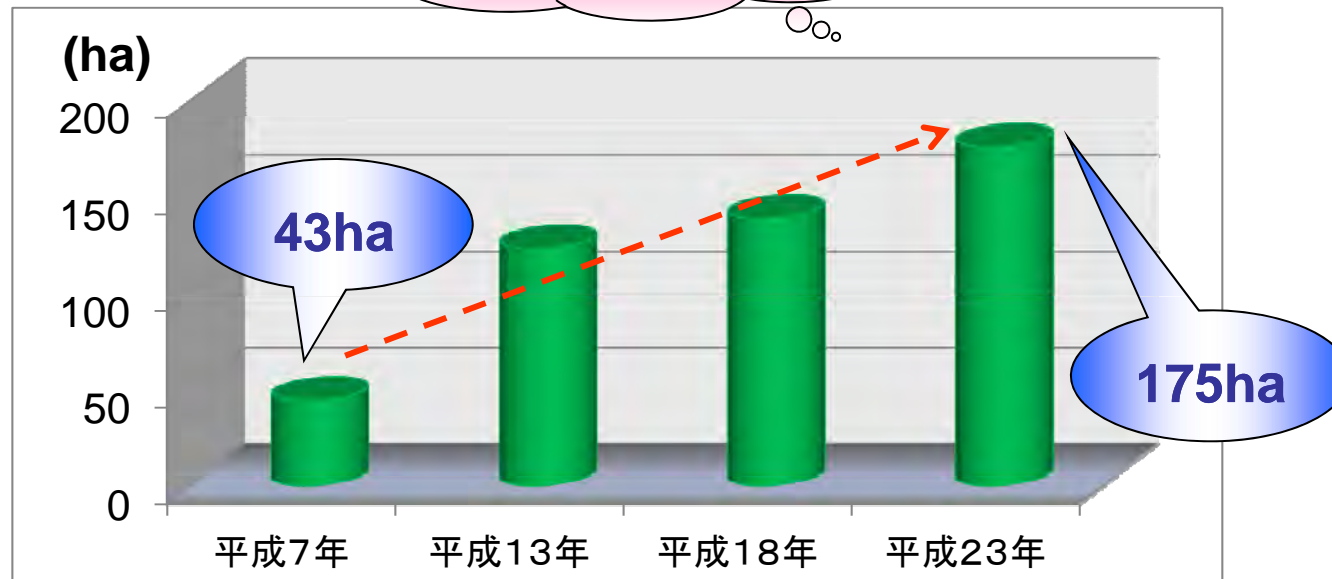
ニセアカシア



花

ハリエンジュの繁茂状況

約4倍に増加！



●河川水辺の国勢調査（植物調査）結果 ※5年に1回実施

- 河川内樹木の中でハリエンジュの増加が著しい状況となっています。
- ハリエンジュを主とした樹木伐採を行っていますが、数年で再生してしまうハリエンジュの特性から、平成23年調査結果でも増加しています。

伐採方法・伐採した樹木の有効利用について

【伐採方法】

◎ **伐木**と**除根**を行います。

- ・伐木は、チェーンソー等で根本から切ります。
- ・除根は、伐木後、重機にて根を掘り起こします。
- ・除根により護岸や河岸に影響する箇所は、除根を行わない場合もあります。

【伐採した樹木の有効活用について】

伐採した樹木の有効利用を図るため、**薪（まき）**に加工し、希望者への配布を検討しております。

※ 詳細については、後日、事務所HP等でお知らせする予定です。

再利用材になるまで

